

一緒に立正大学ラグビー部を
応援ませんか?
ご興味のある方は立正大学総務課まで
ご連絡ください!

立正大学総務課

☎048-536-6010

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

後援会会報

RISSHO UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB

VOL.
13
平成28年8月発行

立正大学ラグビー部 後援会運営委員 塚田貴幸



四十にして感わず 18年前に、
屋号テクノリンクシステムで起業
しました。
消防設備業という、いざと言
う時の火災に備えて消防設備
が正常に機能する為に消防法
に基づいて維持点検を実施し
ます。地域社会に根差した社
会貢献のできる最高の生業と
して捉えています。

「繋がり」をテーマに掲げ活動を
月日が経ち、仕事も順調に安
定してきた頃、青年会議所へ
38歳で入会し、最初の委員会で
堀越監督と再会をしました。
そこから、瞬く間に遠ざけてい
たラグビーとの距離が縮まり、
元々ラグビーの魅力にとりつ
かれていた者の一人でもあり、
ラグビータウンをもっと盛り
上げるべく、民間団体のラグ魂
熊谷を設立し、ラグビーとは、

今、再び、諸先輩方と繋がり
をもてたのも、楯形形のボール
が導いてくれたからだと思
います。
結びに、選手たちの環境を整
える上で、皆様方のほんの少し
のお力添えを頂ければ勝利
を引き込む一助となり必ずや
目標を達成すると思えます。
今後の活動を天職として、全う
していきたく思います。
五十にして天命を知る

諸先輩方との繋がりを話して
いきたく思います。
当時、熊谷工業高校ラグビー
部に入部し、花園を目指してい
ましたが、1年でラグビーの世界
から身を引いてしまいました。
その時、先輩の堀越部長に退
部する理由をクラス前の廊下
で説明をしたことを今でも鮮
明に覚えています。退部後の数
年間は、無意識のうちにラグ
ビーを遠ざけている自分がい
ました。

してきました。そして、アルカス
クイーン熊谷の理事、熊谷ラ
グビーフットボール協会理事
として活動する場を与えて頂
きました。
同協会の塚田朗理事長は、
高校時代の恩師でもありま
すし、太田コーチは、1年先輩で熊
谷富士見中学校体育委員と
して共に、活動をさせて頂き
ました。



立正大学ラグビー部 部長 大竹智

立正大学ラグビー部後援会の
皆様、日ごろより本学ラグビー
部に対し、多大なるご支援を賜
りまして、誠にありがとうございます。

私は、今年度よりラグビー部
長を拝命しました大竹智と申
します。私自身は、立正大学社
会福祉学部に着任して16年、こ
れまでは本学の強化クラブであ
るラグビー部を外野(スタンド)

から漠然と眺めている身でし
た。しかし、4月から土屋副部
長、堀越監督、そして太田(ヘッド
コーチをはじめとした多くのス
タッフとともに、がっちりトスク
ラムを組んで歩む覚悟であり
ます。また、4月からの活動を
通して、ラグビー部が後援会の
皆様をはじめ、これほどまでに
多くの方々に支えられ、そして
期待されていることを改めて知
りました。と同時に、責任の重
さを痛感しております。

現在、ラグビー部員は男子86
名、女子14名、総勢100名の
大所帯です。そして、学生の出
身地も北海道から九州、さら
に海外からも5名の留学生が
来てくれています。こうして、立
正大学を選んで入学して来た
学生達に、私たちは学生スポー
ツであるラグビー部の活動を
通して、人間として成長してい
くことを第一に考えたいと思っ
ています。勝つて学び、負けて学

ぶ、全てにおいて学び(成長の
機会であると思っています。そし
て、後援会の皆様との出会い、
ふれあいもまた成長の機会だと
思っています。
私は、堀越監督の掲げる「誰か
らも愛されるチーム」をサポート
し、男子は1部復帰、女子は
日本代表を目指し、それぞれの
目標が達成できると同時に、
学生一人ひとりの夢が実現でき
るよう、ラグビー部の一員とし
て全力で取り組んでいきたいと
思っています。

今後とも後援会の皆様には、
叱咤激励とともに、学生への
温かな眼差しと変わらぬ支
援をお願いしたいと思います。



立正大学ラグビー部 副部長 土屋典子

立正大学ラグビー部後援会の皆様。日頃よ
り大変お世話になっております。ラグビー部
女子部員の担当をさせて頂いております。土
屋典子と申します。
ラグビー部との関わりも今年で3年目を迎
えました。当初は「トライ」のことを「ゴール」
と言ってしまったり、勉強不足に赤面する毎
日でしたが、少しずつラグビーのルールを覚
えることができ、今ではすっかりラグビーの奥
深さ、その面白さに魅了されております。

おりしも今年度はリオデジャネイロオリンピック
の年です。ラグビー部女子部員からも5名の選手
が日本代表に選出されました。そのしらせを目に
したときには、思わず涙がこぼれてしまいました。
こうした素晴らしい結果が生み出されたのも、選
手の皆さんの、私の想像を絶するほどの絶え間な
い努力によるものだと思います。そして、選手たちが
安心してこのようなトレーニングに励む環境を整
えて下さり、温かく見守って下さっている後援会の
皆様、お一人おひとりのご声援、また、選手たち
とともに汗を流し、選手たちの傍らで日々指導し
て下さっている監督、コーチ、スタッフの皆さんの
存在、そして、大学関係者の皆様の細やかなご
配慮、ご尽力のお蔭であると感じておりま
す。心より感謝申し上げます。
私自身は未熟ものであり、甚だ微力ではござい
ますが、与えられた責務を専心努力する所存で
ございます。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜り
たくお願い申し上げます。



立正大学ラグビー部 監督 堀越正己

常日頃より、立正大学ラグビー部を応援、
サポートいただき、心より御礼申し上げます。
昨シーズンの念願であった1部昇格は、その
目標を果たすことが出来ませんでした。多
くのご支援をいただきながらご期待に沿
うことが出来ず、後援会の皆様を始め、応援を

頂いた皆様には大変申し訳なく思っております。
新チームは、先輩達の果たせなかった1部昇格
に向け、春から日々の厳しい練習に取り組んでお
ります。また、女子ラグビー部およびアルカスク
イーンからは、今夏開催されましたリオ五輪に
7人制女子日本代表として9名が参加しました。
7人制女子日本代表は、決勝トーナメント進出
はならなかったものの、ケニア代表を相手に歴史
的1勝を勝ち取り、来る東京五輪に向け力強い
礎を築き上げてくれました。立正大学ラグビー部
は、このような刺激と経験を糧に、1部昇格は
もちろんのこと、地域の皆さんにより一層必要と
される存在となるよう精進してまいります。今
シーズンも変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い申し
上げます。



立正大学ラグビー部 主将 小筆誠也

私達ラグビー部は現在、関東大学ラグビー
リーグ戦2部に所属しています。
今年度は「一所懸命」をモットーにどんな練習
にもチーム一丸となって何事にも全力で取り

組み、勝つ集団を目指してチームを作っています。
春シーズンの試合では、自分たちの現時点での実
力と課題を把握することができ、最終戦では、1部
リーグの日本大学に勝利することも出来ました。
課題を日々の練習、そして夏合宿でしっかりと修
正し、本番である秋シーズンに向けて頑張ってい
きます。
立正大学ラグビー部に関わってくださっている
方々のためにも、立正大学の誇りを胸に「1部復
帰」を必ず成し遂げます。
また、大学生として学業にも真剣に取り組み、立
正大学の目指しているモラリスト×エキスパートの
模範なるよう日々精進していきます。

平成27年度 立正大学ラグビー部後援会決算報告

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

科目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越金	759,249	759,249	0	
年会費	2,180,000	1,881,000	△299,000	個人会員 238件 831,000 法人会員 100件 1,050,000
総会・激励会参加費	460,000	419,000	△41,000	5/12 第1回運営委員会費 54,000 (18名×@3,000) 6/23 総会懇親会費 92,000 (46名×@2,000) 7/6 第2回運営委員会費 45,000 (15名×@3,000) 8/26 合宿激励ツアー会費 120,000 (24名×@5,000) 9/8 激励会費 108,000 (36名×@3,000)
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	18,000	△32,000	6/23 総会懇親会表賛 12,000 8/26 合宿激励ツアー食事代 6,000
合計	3,649,249	3,277,249	△372,000	

科目	予算額	決算額	増減	摘要
補助費	1,500,000	1,500,000	0	
事業費	930,000	926,574	△3,426	5/12 第1回運営委員会 97,200 6/23 総会懇親会 87,300 7/6 第2回運営委員会 81,000 8/26 合宿激励ツアー 206,624 9/8 激励会 338,250/ラグビーワールドカップ協賛費 100,000 ARUKAS祝賀会花代 16,200
会報等発行費	200,000	173,606	△26,394	後援会封筒 35,640 / 振込取扱票 2,102 / 会報vol.12 135,864
事務費	200,000	97,426	△102,574	
会費振込手数料	30,000	20,350	△9,650	
予備費	789,249	0	△789,249	
合計	3,649,249	2,717,956	△931,293	

収入	支出	差引残高(次年度繰越金)	摘要
3,277,249	2,717,956	559,293	

平成28年度 立正大学ラグビー部後援会予算

平成28年4月1日から平成29年3月31日

科目	本年度予算	前年度予算	対前年比	摘要
前年度繰越金	559,293	759,249	△199,956	
年会費	2,180,000	2,180,000	0	個人会員 (830,000) 法人会員 (1,350,000)
総会・激励会参加費	460,000	460,000	0	総会:80,000(40名×@2,000) 運営委員会:120,000((20名+20名)×@3,000) 激励会:135,000(45名×@3,000) 合宿激励ツアー:125,000(25名×@5,000)
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	50,000	0	総会・激励会表賛
合計	3,449,293	3,649,249	△199,956	

科目	本年度予算	前年度予算	対前年比	摘要
補助費	1,500,000	1,500,000	0	ラグビー部への補助
事業費	930,000	930,000	0	役員会、総会、懇親会 100,000/ 運営委員会(2回) 180,000 合宿激励ツアー 200,000/ 激励会 350,000 ラグビーワールドカップ2019への支援 100,000
会報等発行費	300,000	200,000	100,000	会報・パンフレット等印刷代
事務費	100,000	200,000	△100,000	通信費、事務用品購入等
会費振込手数料	30,000	30,000	0	郵便振込
予備費	589,293	789,249	△199,956	
合計	3,449,293	3,649,249	△199,956	

平成27年度 立正大学ラグビー部後援会事業報告

1. 後援会会員数

個人会員	238件(平成26年度 249件)
法人会員	100件(平成26年度 100件)

2. 後援会各種行事

平成27年	
5月12日(火)	運営委員会開催(総会に向けて)
6月23日(火)	役員会・総会・懇親会開催(於:立正大学熊谷キャンパス)
7月6日(月)	運営委員会開催(合宿激励・激励会に向けて)
8月26日(水)	合宿激励ツアー開催(於:菅平高原)
9月2日(水)	会員証・会報発行
9月8日(火)	激励会開催(於:立正大学熊谷キャンパス)
9月19日(土)	公式戦応援(対玉川大学) ○71-12
9月27日(日)	公式戦応援(対白鷗大学) ○57-0
10月12日(月)	公式戦応援(対國學院大学) ○57-14
10月17日(土)	公式戦応援(対国士館大学) ○50-14
10月31日(土)	公式戦応援(対関東学院大学) ●10-32
11月8日(日)	公式戦応援(対東洋大学) ○18-12
11月22日(日)	公式戦応援(対日本大学) ●12-50

平成28年	
3月23日(水)	ラグビー部納会参加(於:立正大学熊谷キャンパス)

平成28年度 立正大学ラグビー部後援会事業計画

- ラグビー部への補助
- リーグ戦等試合への応援
- 合宿激励ツアー・激励会の開催
合宿激励ツアー 8月25日(木) 於 菅平高原
激励会 9月12日(月) 於 マロウドイン熊谷
- 地域におけるラグビーの普及推進
- ラグビーワールドカップ2019への支援
- 後援会会報の発行
- 新規会員の増強
- その他

春のオープン戦結果

1部昇格を目標に始動した春シーズン!
夏合宿への下地作りも順調に進み、秋本番に向けて迷いなき挑戦は続く!

2016年 関東大学リーグ戦セブンス大会

日時	グレード	勝敗	スコア	対戦相手
4/17	A	●	立正大学 7-42	流通経済大学
	A	●	立正大学 12-31	朝鮮大学

オープン戦

日時	グレード	勝敗	スコア	対戦相手	日時	グレード	勝敗	スコア	対戦相手
5/1	A	○	59-24	立教大学	6/5	B	○	50-31	國學院大学B
	B	●	29-74	立教大学B	6/11	B	○	59-17	駿河台大学A
5/7	B	○	80-26	白鷗大学	6/12	C	○	92-24	駿河台大学B
	C	○	38-24	白鷗大学B	6/12	D	●	31-38	埼玉工業大学
5/8	D	○	79-36	湘南フジクラブ	6/18	B	●	20-34	東洋大学B
	A	○	77-26	山梨学院大学	1年	○	45-29	東洋大学1年	
5/15	B	○	54-22	山梨学院大学B	6/19	A	●	31-55	東洋大学
	1年	○	50-15	山梨学院大学1年	6/25	A	●	26-67	拓殖大学
5/22	A	○	109-19	朝鮮大学	6/25	B	○	59-41	拓殖大学B
	A	●	24-55	関東学院大学	1年	○	72-12	拓殖大学1年	
5/29	B	●	24-73	関東学院大学B	7/2	B	●	28-47	日本大学B
	1年	●	17-61	関東学院大学1年	7/2	C	●	7-96	日本大学C
6/4	C	△	38-38	JR東日本	7/3	A	○	66-31	日本大学
6/5	A	●	34-36	國學院大学					

平成28年度新入部員

今年も精鋭30名の新入部員が立正大学の門をたたきました。
大きな希望を胸に、目標に向かって成長していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

ポジション	名前	出身校	ポジション	名前	出身校	ポジション	名前	出身校
男子			女子			男子		
NOB	大黒 駿	石巻工業	WTB	小野 勇之介	大分雄城台	PR	松本 碧	荒尾・岱志
	アヲロ・サムソフ	カリストポ・イズ		岩田 亮	千葉北		上嶋 晶太	荒尾・岱志
SH	渡部 令惟	啓光学園	FB	土井 将聖	啓光学園		山下 大貴	三好
	東 柊士	常翔学園		黒井 航	北越		初元 瑞生	千葉北
SO	今泉 仁	男鹿工業	女子				新矢 大起	松山聖陵
	小森田 竜矢	九州学院	PR	黒川 碧	石見智翠館		蔵元 雅	東福岡
HO	岡野 航大	市立船橋		樽井 愛華	兵庫		山口 大貴	北越
	太田 悠	鶴来	SO	古田 真菜	筑紫		金田 洗貴	八戸西
LO	吉原 瑛太	岩槻北陵	SH	野田 夢乃	福岡		眞田 淳也	湘南工科大附
	堀井 洗太	國學院栃木	PR	バレイカカロイテイ/海遥	板橋有徳		小林 陸人	大東文化第一
FL	澤田 尚希	新潟工業						

平成28年関東大学リーグ戦 2部 公式戦日程

今年も4試合が地元・熊谷で開催されます。ホームでの声援は選手にとって大きな力となります!
一人でも多くの方々がグラウンドへお越しいただけるよう選手一同心よりお待ちしております。

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月17日(土)	15:00	vs國學院大学	秋葉台
9月25日(日)	12:00	vs国士館大学	富士北麓公園
10月9日(日)	14:00	vs朝鮮大学校	熊谷B
10月16日(日)	14:00	vs白鷗大学	熊谷B
10月30日(日)	14:00	vs山梨学院大学	熊谷B
11月5日(土)	14:00	vs専修大学	秋葉台
11月19日(土)	14:00	vs東洋大学	熊谷C

平成28年 ジュニア選手権 カテゴリー3公式戦日程

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月4日(日)	16:00	vs関東学院大学	立正大学G
9月12日(月)	15:00	vs拓殖大学	立正大学G
10月1日(土)	13:00	vs大東文化大学	大東文化大学G
11月13日(日)	13:00	vs青山学院大学	立正大学G

※キックオフの時間は変更になる可能性があります

ラグビー部女子部員がリオオリンピックに出場

7人制ラグビー女子日本代表に、立正大学学生および卒業生の5名が選出され、リオデジャネイロオリンピックに出場しました。
世界の壁は厚く、惜しくも12か国中10位という結果に終わりましたが、次回の東京オリンピックでのさらなる活躍が期待されます。
今後もARUKAS KUMAGAYA、立正大学ラグビー部女子部員へのご声援をよろしくお願いいたします。

< 出場選手 >

- 大黒田 裕芽 【社会福祉学部4年】
- 山中 美緒 【社会福祉学部3年】
- 鈴木 彩香 【立正大学職員 大学院社会福祉学研究科修了】
- 桑井 亜乃 【(株)八木橋 大学院社会福祉学研究科修了】
- 三樹 加奈 【埼玉縣信用金庫 社会福祉学部卒業】

プール	勝敗	スコア	対戦国
第1戦	●	0 - 45	vs カナダ
第2戦	●	0 - 40	vs イギリス
第3戦	●	10 - 26	vs ブラジル
9~12位 順位決定戦	○	24 - 0	vs ケニア
9~10位 順位決定戦	●	5 - 33	vs ブラジル

春のターゲット山梨学院大、日本大に大勝!

平成28年5月15日(日)に昨年度までリーグ戦1部で今季から2部リーグで争う、山梨学院大学に77対26で快勝しました。相手の強みであるFWIに対し、全員ラグビーで走り勝ちました。オープン戦最終戦の7月3日(日)対日本大学では、今季より1部リーグ復帰を果たした相手チームに対して、気迫と粘り強いラグビーで戦い、66対31で圧勝しました。1部リーグ復帰に向けて、いい春シーズンの戦いが出来ました。菅平合宿でも更なる強化をしていきます。今後の立正大学の活躍に期待してください。

